

海域全般に、キートセロス等、多種の珪藻類がやや多くなっています。また、1/10から続いた西寄りの風波や大阪湾での栄養塩がやや低下していること、降雨による栄養塩供給がない影響で、窒素は陸水等の影響が見られる海域地先で3~5  $\mu\text{g at/L}$  台、高砂漁場以西で1  $\mu\text{g at/L}$  以下、その他の地点で概ね1  $\mu\text{g at/L}$  台の値と大きく低下しています。

(水温) 漁場内平均10.7°C (平年比0.1°C低く、昨年比0.4°C高い)。(塩分) 平均32.68psu。前回(32.54)より0.14psu高い。

(珪藻、栄養塩ほか)

海域全般にキートセロス等、多種の珪藻類がやや多くなっており、ユーカンピアは、それほど増加していませんが全域で確認されるようになっています。また、①'ではキートセロス群体がやや多く確認された。

海域地先(⑤⑥⑦)では、陸水の影響が強く見られ、アンモニア態窒素の値が高くなっていた。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	11.9	10.7	10.8	10.3
窒素	4.6	1.5	3.3	4.4
リン	0.48	0.35	0.44	0.56

(1/7) ※窒素の平均

は⑥を除く

(1/14) ※窒素の平均

は⑥を除く

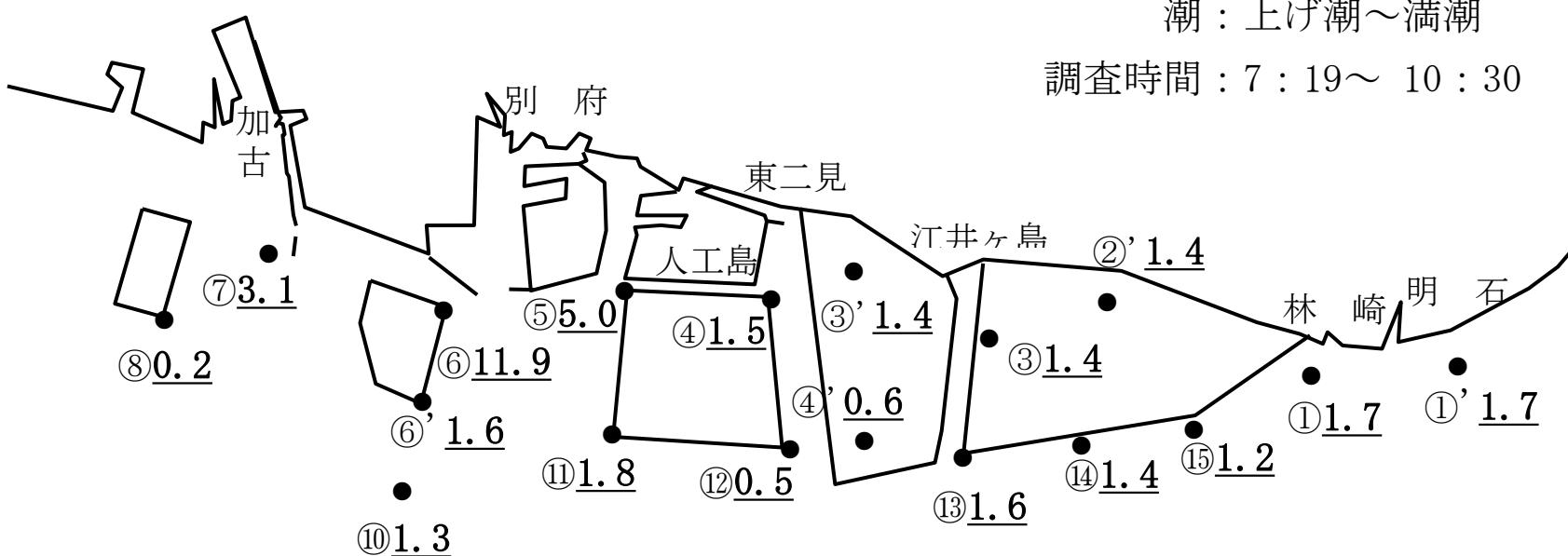
西播地先	(1/13)
伊保地	水温 9.8°C 伊保 沖 水温 9.5°C
	窒素 0.4 窒素 0.1
	リン 0.23 リン 0.21
白浜地	水温 9.5°C 白浜 沖 水温 9.3°C
	窒素 0.1 窒素 0.2
	リン 0.20 リン 0.20

2026年1月16日調査

栄養塩(窒素)図

潮: 上げ潮~満潮

調査時間: 7:19~10:30



水温図

